

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 5 月 22 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16H02004

研究課題名(和文)対中関係のアジア間比較：4要因モデルからのアプローチ

研究課題名(英文) A Comparative Study of Asian Countries' Bilateral Relations with China: An Approach from the Four Factor Model

研究代表者

高原 明生 (Takahara, Akio)

東京大学・大学院公共政策学連携研究部・教育部・教授

研究者番号：80240993

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 31,600,000円

研究成果の概要(和文)：1)国内政治、2)経済利益、3)国際環境および安全保障、そして4)国民の感情、認識、アイデンティティという四つの要因から、アジア諸国の対中二国間関係を分析し、比較することを通して、それぞれの対中関係の特徴のみならず、対象国の政治経済社会と外交に関する理解を深めることができた。

国内政治や経済については、それぞれの国における華僑華人の果たす役割が一つのポイントになる。また、安全保障をめぐる対中摩擦の大小によって国民の対中認識は影響されるなど、四要因相互の連動についての知見も得ることが出来た。

研究成果の学術的意義や社会的意義

台頭する中国との関係を管理し安定させることは、多くの国にとって最大の外交課題となっている。だが二国間関係に関する学術研究は、現実のニーズに比して不十分である。本プロジェクトでは、東アジアの国々の対中関係を四つの要因(内政、経済、国際環境と安全保障、国民感情・認識とアイデンティティ)に即して分析するアプローチを提起し、比較研究を実施した。その結果、各国の対中関係を左右する要因が浮き彫りになった。

研究成果の概要(英文)：We were able to deepen our understanding about (a) the characteristics of the bilateral relationships that the East Asian nations have with China, and about (b) the politics, economy, society and diplomacy of those nations. In the analyses and comparison of the bilateral relations, we applied the four-factor model and looked into four factor areas, namely, (a) domestic politics, (b) economic interests, (c) international environment and security, and (d) people's emotions, perceptions and identity.

In the realm of politics and economies, an important factor is the role that the overseas Chinese play in each country. We were also able to explore and develop our understanding about the interaction between the four-factor areas, such as the function between the existence of friction over security and people's perceptions about China.

研究分野：社会科学

キーワード：政治学 現代中国研究 地域研究 政策過程 国際関係論

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

(1) 2012年の日本政府による尖閣諸島購入をめぐる日中両国の激しい衝突以来、日中関係に関する研究を深めることは焦眉の急となった。しかし実は、それ以前から日中関係に緊張をもたらす要因はあったし、それと同時に経済交流をはじめとして協力関係が拡大発展する部分もあるのが現実だ。なお、日本のみならず、多くの東アジア諸国も共通して複雑な対中二国間関係に直面している。

(2) 国際関係論の分野では、二国間関係に関する理論的な研究が多くない。また、複雑な二国間関係をバランスよく理解しようとするれば、国際関係論のみならず、二つの国それぞれの政治、経済、社会の状況に関する広く正確な理解が不可欠である。しかし、地域研究、あるいは政治学、経済学、社会学と、国際関係論を結びつけるような総合的なアプローチから二国間関係に迫る先行研究は存在しなかった。

2. 研究の目的

(1) 日中関係に影響を及ぼす諸要因を明らかにすることが第一の研究目的であった。だがそれに加え、諸要因の間関係を明らかにすることも目指された。例えば、安全保障上の問題が発生した時に、それが経済交流にどのような影響を及ぼすのか及ぼさないのか、といった相互作用も研究の射程に含まれた。

(2) 日中関係と同様の分析を行い、アジア諸国の対中二国間関係についての理解を深めると同時に、それぞれを比較し、各国の外交および国内事情の特徴を明らかにすることも目指された。

(3) 特定の分野に焦点を置くのではなく、共同研究によって総合的なアプローチを採ることにより、国際関係論の学術的な発展に資することも重要な目的とされた。

3. 研究の方法

(1) 分析の枠組みとして、「四要因モデル」を採用し、各国の対中二国間関係の分析に適用した。すなわち、国内政治、経済利益、国際環境と安全保障、そして国民の感情、認識およびアイデンティティの四つの要因領域を設定し、対中二国間関係の変化や動向をもたらした要因を実証研究する枠組みとした。その際に、それぞれの要因領域の間の相互作用に注目した。

(2) 韓国、台湾、ベトナム、フィリピン、シンガポール、インドネシアの専門家を研究協力者として、日中関係と同様、各国・地域の対中関係を「四要因モデル」により分析し、それらを比較した。

(3) 各要因をテーマに、国際ワークショップを毎年実施したほか、論文の草稿ができた時点で一般公開されたシンポジウムや総括のワークショップを開き、日本側のプロジェクト参加者と海外の研究協力者との討論を緊密に実施した。

4. 研究成果

(1) 国内政治要因について言えば、選挙を意識せざるを得ない日本の指導者のみならず、選挙がない中国においても指導者は国民やエリートの声を無視できない。過去数年、中国における日本イメージは改善が進んでいるが、そのことは指導者が友好的な対日政策を打ち出すことを容易にしている。また逆に、友好的な対日政策を採用するために、指導者は国民の意識に働きかけることがある。その手段としては、中国人の日本旅行を奨励することなどがある。

(2) 国民の認識や感情は、しかし必ずしも経済交流に影響を及ぼすことはなく、日中両国間の貿易額の推移は両国の経済規模の変化に対応している。首脳交流など、両国の政治関係の動きが貿易関係に及ぼす影響も認められない。

(3) 日中間の安全保障関係は、米中間における安全保障関係の従属変数としての側面が大きい。日中の間では、台湾、北朝鮮、南シナ海などをめぐり安全保障上の利益が一致しておらず、今後は象徴的な安保交流から実質的な危機管理や協力に進めるかどうかが問題となるが、そこで国内政治がどのように作用するかが問われることとなろう。

(4) 日本における中国イメージの改善が進まない大きな要因は、安全保障についての脅威感の高まりである。日本の政治指導者は、それを考慮に入れ、安全保障問題には毅然として対応する必要がある。他方、国民は対中関係の重要性を認識している。したがって、政治指導者は対中関係の改善に努めることも同時に行わねばならない。

(5) 東アジア諸国において、国内政治が対中関係上の要因となるかどうかは、一つにはその国の政治体制による。例えば、人民行動党の一党支配が続くシンガポールでは、国内政治も国民の認識も対中外交政策形成に影響を及ぼすことはほとんどない。また、ベトナムは中国と同様、共産党の一党支配体制が続いているため、安全保障をめぐるでは厳しい対立状況がある一方で、指導部同士の政治関係は良好である。

(6) 米中関係が緊張する状況下で、国際環境要因が国内政治要因に作用することも少なくない。韓国のように、対米関係と国内政治が深くかかわっている場合、米中関係との関数で対中関係も国内政治要因の影響を受ける場合がある。フィリピンにおいても、親中姿勢を示すドゥテルテ大統領をめくり、国内政治は分断されている。フィリピンでは、国内政治の分断の結果、安全保障政策をめくっても統一された対中姿勢を採ることは難しい。

(7) 多くの国において、中国との関係で最も重要でポジティブなのは経済要因である。ただ、インドネシアのケースのように、その国の経済社会において華僑華人と現地人との格差が見られる場合、経済交流の活性化が反中感情を惹起することもある。また、ベトナムのケースのように、安全保障上の問題が大きくなるとともに中国が経済関係を梃子に圧力をかけてくる場合があり、経済要因の作用の仕方は必ずしも一様ではない。

(8) 中国との安全保障関係には各国とも悩まされている。特に、南シナ海などで主権をめぐる対立が起きている当事国では、対中二国間関係に大きく作用する要因である。国民の対中認識も、台湾、フィリピン、ベトナムでは厳しい。他方で、インドネシアでは、安全保障交流を通して軍や国防産業の対中警戒感が緩和され、国民全体の対中認識も総じて良い。

(9) 各国の対中関係を分析する上で、四要因モデルは有効である。諸要因の間の相互作用も明瞭に見て取れた。また、四要因モデルの適用により、各国の国情の特徴を明らかにすることもできた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計65件（うち査読付論文 13件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 12件）

1. 著者名 高原明生	4. 巻 第1巻第4号
2. 論文標題 米中対立--覇権の行方	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Security Studies 安全保障研究	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 園田茂人	4. 巻 11月号
2. 論文標題 アジア学生調査第三波調査から見えてきたこと	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 UP	6. 最初と最後の頁 18-24
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 園田茂人	4. 巻 70巻3号
2. 論文標題 中国台頭の国際心理 アジア域内の温度差をめぐって	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会学評論	6. 最初と最後の頁 264-283
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 川島真	4. 巻 -
2. 論文標題 習近平政権下の外交・世界秩序観と援助 胡錦濤政権期との比較を踏まえて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 川島真・遠藤貢・高原明生・松田康博編著『中国の外交戦略と世界秩序-理念・政策・現地の視線』	6. 最初と最後の頁 53-77
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 -
2. 論文標題 中国の対アフリカ外交 江沢民政権末期～胡錦濤政権期の対東部アフリカ外交を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 川島真・遠藤貢・高原明生・松田康博編著『中国の外交戦略と世界秩序 理念・政策・現地の視線』	6. 最初と最後の頁 123-157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shin Kawashima	4. 巻 -
2. 論文標題 "Chinese New Terminology: "World Order" and "International Order"	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 in Axel Berkofsky and Giulia Sciorati eds., MAPPING CHINA 'S GLOBAL FUTURE Playing Ball or Rocking the Boat?	6. 最初と最後の頁 37-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14672/55261753	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 川島真	4. 巻 -
2. 論文標題 第一章 中国の中華民国史研究 『中華民国專題史』の位置付けについて考える	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 (川島真・中村元哉編著『中華民国研究の動向 中国と日本の中国近代史理解』)	6. 最初と最後の頁 37-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 第39巻第2号
2. 論文標題 日本の歴史学界における台湾史研究の特徴について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会科学研究	6. 最初と最後の頁 181-185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 -
2. 論文標題 蘇州日本租界開設交渉-荒川巳次・黄遵憲の六条合意(1896年4月)への道程	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東アジアにおける租界研究-その成立と展開	6. 最初と最後の頁 263-294
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平野温郎	4. 巻 47巻10号
2. 論文標題 一帯一路イニシアティブにおける 契約法の共通基盤形成の意義と可能性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際商事法務	6. 最初と最後の頁 1256-1260
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 丸川知雄	4. 巻 308号
2. 論文標題 ハイテク企業を輩出する中国のエコシステム	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Security Studies 安全保障研究	6. 最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 丸川知雄	4. 巻 938号
2. 論文標題 米中貿易摩擦と中国ハイテク産業の現状	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 学士会会報	6. 最初と最後の頁 21-25
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 丸川知雄	4. 巻 630号
2. 論文標題 アメリカの中国ハイテク産業叩きが無益な理由	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 20-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 丸川知雄	4. 巻 第57巻第1号
2. 論文標題 中国の産業政策の展開と『中国製造2025』	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 比較経済研究	6. 最初と最後の頁 53-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 丸川知雄	4. 巻 第80巻第2号
2. 論文標題 中国におけるシェアリングエコノミー	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 運輸と経済	6. 最初と最後の頁 43-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 丸川知雄	4. 巻 3月10日号
2. 論文標題 米中貿易戦争 日本には『最悪』の合意	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 週刊エコノミスト	6. 最初と最後の頁 38-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松田康博	4. 巻 1月号
2. 論文標題 如何解説安倍政府的安全保障政策	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 亞太安全興海洋研究	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松田康博	4. 巻 2019 (下)
2. 論文標題 馬英九時期的日本和台湾地區關係	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 中国国際戦略評論	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加茂具樹	4. 巻 51
2. 論文標題 トレンド2018 習政権の権力基盤をめぐる「ざわめき」：党大会から一年、米中通商摩擦などの影響は	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 66-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 園田茂人	4. 巻 23/4
2. 論文標題 社会学的想像力と地域研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 学術の動向	6. 最初と最後の頁 50-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 園田茂人	4. 巻 64/2
2. 論文標題 研究動向：データのアーカイブ化とアジア研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アジア研究	6. 最初と最後の頁 39-46
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 園田茂人	4. 巻 78/12
2. 論文標題 中国政府が「一帯一路」に専念できるのはなぜか：中国市民の党・政府への高信頼の背後にあるもの	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 運輸と経済	6. 最初と最後の頁 188-193
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平野温郎	4. 巻 47巻2号
2. 論文標題 中国「一帯一路」と企業法務における日中協力	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際商事法務	6. 最初と最後の頁 181-185
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松田康博	4. 巻 -
2. 論文標題 第2期習近平政権の対台湾政策 『新時代』の中台関係展望	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 一般財団法人鹿島平和研究所	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 22
2. 論文標題 中国の第一次世界大戦参戦 対ドイツ抗議・断交を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東アジア近代史	6. 最初と最後の頁 29-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 -
2. 論文標題 日華断交之前日本対台湾海峡的立場和論述 第二次台湾海峡危機時期為主	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 江柏;主編『馬祖 戦争与和平島嶼国際学術研討会論文集』	6. 最初と最後の頁 285-296
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 615
2. 論文標題 近代中国における『独立』 軍事・安全保障からの視点	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 92-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 -
2. 論文標題 一九五〇年代半ばの中国留日学生と日本国費留学制度再開	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 孫安石・大里浩秋編著『中国人留学生と「国家」・「愛国」・「近代」	6. 最初と最後の頁 285-312
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akio Takahara	4. 巻 -
2. 論文標題 The CCP 's Meritocratic Cadre System	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Lam, Willy Wo Lap (ed.), Routledge Handbook of the Chinese Communist Party (Routledge)	6. 最初と最後の頁 153-164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akio Takahara	4. 巻 -
2. 論文標題 Forty-four Years of Sino-Japanese Diplomatic Relations Since Normalization	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Lam, Peng Er (ed.), China-Japan Relations in the 21st Century: Antagonism Despite Interdependency (Palgrave Macmillan)	6. 最初と最後の頁 25-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高原明生	4. 巻 -
2. 論文標題 中台関係の安定期における日中関係の展開 中国国内政治と対日政策の連動を焦点として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 松田康博・清水麗編著『現代台湾の政治経済と中台関係』(晃洋書房)	6. 最初と最後の頁 194-219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高原明生	4. 巻 -
2. 論文標題 中国の幹部選抜任用制度をめぐる政治	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 加茂具樹・林載桓編著『現代中国の政治制度 時間の政治と共産党支配』(慶應義塾大学出版会)	6. 最初と最後の頁 131-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 園田茂人	4. 巻 2
2. 論文標題 アジア諸国から見た日本	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ゼットキューブ	6. 最初と最後の頁 8-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 園田茂人	4. 巻 49
2. 論文標題 巻頭言 続・日本研究がアジア研究の一部になる日	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アジア政経学会ニュースレター	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoo Marukawa	4. 巻 41
2. 論文標題 "Regional unemployment disparities in China"	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Economic Systems	6. 最初と最後の頁 203-214
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1016/j.ecosys.2016.11.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoo Marukawa	4. 巻 6
2. 論文標題 "The Economic Nexus between China and Emerging Economies"	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Contemporary East Asia Studies.	6. 最初と最後の頁 29-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://dx.doi.org/10.1080/24761028.2017.1312755	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 丸川知雄	4. 巻 63
2. 論文標題 「『中国経済学入門』の特徴と問題点」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アジア研究	6. 最初と最後の頁 22-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.11479/asianstudies.63.2_22	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 丸川知雄	4. 巻 644
2. 論文標題 世界経済の『中心』としての中国	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 41-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 丸川知雄	4. 巻 1
2. 論文標題 “中国的地区失業率差距”	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 世界経済文匯	6. 最初と最後の頁 189-204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 丸川知雄	4. 巻 290
2. 論文標題 「2018年の中国経済と国有企業改革の展望」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日中経協ジャーナル	6. 最初と最後の頁 8-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 板垣博	4. 巻 65巻第1号
2. 論文標題 東アジアにおける日系企業の企業内知識移転 - 日本人出向者の役割と	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 武蔵大学論集	6. 最初と最後の頁 1-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 21
2. 論文標題 中国における甲午戦争百二十年史研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東アジア近代史	6. 最初と最後の頁 56-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KAWASHIMA Shin	4. 巻 24
2. 論文標題 Toward China's "Hub and Spokes" in Southeast Asia? Diplomacy during the Hu Jintao and First Xi Jinping Administrations	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Asia Pacific Review	6. 最初と最後の頁 64-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1080/13439006.2017.1415565	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻
2. 論文標題 東亜国際政治史 圍繞中国的国際政治史与中国外交史	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本国際政治学会編、劉星訳『日本国際政治学 第四巻 歴史中的国際政治』(北京大学出版社)	6. 最初と最後の頁 66-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 668
2. 論文標題 中国の対外政策目標と国際秩序観 習近平演説から考える	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 28-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小原雅博	4. 巻 47
2. 論文標題 中国大国外交の硬と軟	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「外交」	6. 最初と最後の頁 42-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高原明生	4. 巻 -
2. 論文標題 習近平政権の外交と日米中関係	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 天兒慧・李鍾元編『東アジア 和解への道 歴史問題から地域安全保障へ』	6. 最初と最後の頁 123-138
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akio Takahara	4. 巻 -
2. 論文標題 The American Factor in Japan-China Relations	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Bo Zhiyue (ed), China-US Relations in a Global Perspective, Victoria University Press	6. 最初と最後の頁 145-152
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高原明生	4. 巻 659号
2. 論文標題 仲裁判断後の南シナ海をめぐる中国外交	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 4-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 園田茂人	4. 巻 5月号
2. 論文標題 中国の台頭を世界はどう受け止めているか	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 UP	6. 最初と最後の頁 5-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 園田茂人	4. 巻 夏号
2. 論文標題 社会調査でここまでわかった 中国の最新結婚事情	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 文藝春秋 SPECIAL	6. 最初と最後の頁 194-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoo Marukawa	4. 巻 55
2. 論文標題 The Impact of China's Economic Fluctuations on the Global Economy	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Social Science Japan Newsletter	6. 最初と最後の頁 3-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 丸川知雄	4. 巻 38
2. 論文標題 中国とアフリカは蜜月か - - 貿易からみた実像	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 55-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoo Marukawa	4. 巻 11
2. 論文標題 Comment on "China's Transport Infrastructure Investment: Past, Present, and Future"	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Asian Economic Policy Review	6. 最初と最後の頁 218-219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi:10.1111/aep.12136	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 丸川知雄	4. 巻 270
2. 論文標題 中国経済成長の新たな原動力 - - イノベーションと創業	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日中経協ジャーナル	6. 最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松田康博	4. 巻 無し
2. 論文標題 第1章 中国の対外行動「強硬化」の分析 四つの仮説	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 加茂具樹編 『中国対外行動の源泉』慶應義塾大学出版会	6. 最初と最後の頁 3-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KAWASHIMA Shin	4. 巻 -
2. 論文標題 "The Turning Points of Modern Sino-Japanese Relations"	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Arthur Herman and Lewis Libby eds., Asian Shadows: the Hidden History of World War Two in the Pacific, Hudson Institute	6. 最初と最後の頁 21-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 KAWASHIMA Shin	4. 巻 -
2. 論文標題 "Deimperialization" in early postwar Japan: adjusting and transforming the institutions of empire"	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 in Barak Kushner and Sherzod Muminov eds., The Dismantling of Japan's Empire in East Asia: Deimperialization, postwar legitimation and imperial afterlife, Routledge	6. 最初と最後の頁 30-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 -
2. 論文標題 中国の対東南アジア・ASEAN外交 胡錦濤・習近平政権期を中心に	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 大庭三枝編著『東アジアのかたち 秩序形成と統合をめぐる日米中ASEANの交差』千倉書房	6. 最初と最後の頁 155-186
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 65
2. 論文標題 日中戦争と華僑送金 『傀儡』政権の存在意義	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 国際社会科学	6. 最初と最後の頁 65-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中明彦	4. 巻 35
2. 論文標題 The Spheres in International Politics and Summit Diplomacy	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Discuss Japan	6. 最初と最後の頁 web公開のためページなし
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中明彦	4. 巻 750
2. 論文標題 日本の国際協力とアジア外交	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本貿易会 月報	6. 最初と最後の頁 30-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中明彦	4. 巻 38
2. 論文標題 国際政治の「圏域」分化とサミット外交	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 84-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中明彦	4. 巻 130
2. 論文標題 VISIONS OF PEACE	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 NIKKEI ASIAN REVIEW	6. 最初と最後の頁 34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中明彦	4. 巻 651
2. 論文標題 サミットと日本	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計129件 (うち招待講演 86件 / うち国際学会 69件)

1. 発表者名 Akio Takahara
2. 発表標題 Reshaping Vision for Trilateral Cooperation: A View from Japan
3. 学会等名 日中韓三国協力国際フォーラム2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 日中関係の持続可能な発展のために
3. 学会等名 中国社会科学フォーラム (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 日中関係研究路径之探索
3. 学会等名 「新時代中日関係」国際学術シンポジウム (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 AkioTakahara
2. 発表標題 Free and Open Indo-Pacific Vision in the Context of Japan-China Rapprochement
3. 学会等名 33rd Asia-Pacific Roundtable (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Takahara
2. 発表標題 Changing Landscape in the Korean Peninsula and Prospects for Economic Cooperation in Northeast Asia
3. 学会等名 The 116th GSDM Platform Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 中国政治と米中対立
3. 学会等名 アジア国際法学会日本協会第10回秋季研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 如何定義一帶一路：中国政治外交研究之視覚
3. 学会等名 第四届“中国与東亞”国際学検討会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 日本安倍政府外交安全政策の決策過程
3. 学会等名 南開大学日本研究院 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 戦後日本の亜太外交
3. 学会等名 南開史学名人講座 南開大学歴史学院 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 MATSUDA, Yasuhiro
2. 発表標題 "The Prospects of Sino-Japanese Relations: From Rivalry to Cooperation?"
3. 学会等名 Presented at the Bai Xian Asia Institute (BXAI) Sponsored Lecture Series, Yenching Academy of Peking University (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 "Sandwiched by China and Japan: Analyzing Perception toward the "Rise of China" by Second Generation of Chinese Migrants in Japan,"
3. 学会等名 International Symposium Crossing Boundaries: Migration, Mediation, Morality (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 “ How Are Elite University Students in ASEAN Countries Looking at Asian Neighbors?: An Analysis of Asian Student Survey 2013-2018 ”
3. 学会等名 Public Lecture: School of Department of Political and Social Sciences, University of Indonesia (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 “ Declining National Boundaries of Food Preference in Southeast Asia?An Analysis of Asian Student Survey Data, 2008-2018, ”
3. 学会等名 2019 International Conference on Chinese Food Culture (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 “ How Are Elite University Students in ASEAN Countries Looking at Asian Neighbors?: An Analysis of Asian Student Survey 2013-2018 ”
3. 学会等名 Public Lecture: Asian Centre, University of Philippines (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 “ Asian Views of China in the Age of China 's Rise : Interpreting Results of Asian Student Survey, 2013-2019 ”
3. 学会等名 Annual Meetings of Taiwan Sociological Association (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 “ How Are Elite University Students in ASEAN Countries Looking at Asian Neighbors?: An Analysis of Asian Student Survey 2013-2018 ”
3. 学会等名 Public Lecture: Institute of China Studies, University of Malaya (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 “ Asian Views of China in the Age of China 's Rise : Interpreting Results of Asian Student Survey, 2013-2019 ”
3. 学会等名 Events: Manchester China Institute, University of Manchester (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 板垣博
2. 発表標題 海外日本企業の特徴と経営進化：ローカル人材・日本人出向者・経営環境を中心とした考察
3. 学会等名 東アジア経営学会連合産業部会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 東アジア談論と平和 脱近代・国家、そして人間
3. 学会等名 2019年度第3回国際学術大会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 中国の描く秩序像 新型国際関係と強化された社会管理、そして脆弱性
3. 学会等名 日本比較政治学会2019年度研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 「「和解」の観点から見た戦後日中・日台関係史-日韓関係との比較の視座-
3. 学会等名 第四回歴史和解のための韓日フォーラム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 日本の中国研究・台湾研究の意義-アジアにおける中国・台湾研究の進展の中で-
3. 学会等名 日本学術会議公開シンポジウム「危機を超えて 地域研究からの価値の創造」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 今後の日中関係の展望
3. 学会等名 第116回東京財団政策研究所フォーラム『米中貿易戦争下の地政学リスク - 新たな日中関係のあり方』
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 中国の現在と今後を考える三要素 経済・技術・国際関係
3. 学会等名 21世紀政策研究所がシンポジウム「現代中国理解の要所 今とこれからのために」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 従日本外交档案来看的1980年代之中日首脳外交
3. 学会等名 新時代中日関係国際學術研討会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平野温郎
2. 発表標題 “一帯一路” 構想の下での日中第三国協力プロジェクトの企業法務
3. 学会等名 日中企業法務フォーラム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平野温郎
2. 発表標題 一帯一路イニシアティブにおける契約法の共通基盤形成の可能性
3. 学会等名 日中民商法研究会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 丸川知雄
2. 発表標題 中国は市場経済に向かっているのだろうか? : 中国の産業政策を考える
3. 学会等名 比較経済体制学会全国大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 丸川知雄
2. 発表標題 China's industrial policy and China's impact on other emerging economies
3. 学会等名 Institute for New Economic Thinking, Young Scholar Initiative, Asian Convening (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 丸川知雄
2. 発表標題 中国における移動通信技術の発展 : 2Gから5Gまで
3. 学会等名 比較経済体制研究会第38回夏季研究大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 丸川知雄
2. 発表標題 シェアリングエコノミーと中小企業 : 中国と日本の比較
3. 学会等名 中小企業研究国際協議会日本委員会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 丸川知雄
2. 発表標題 "Made in China 2025" and the Prospects for Chinese High-tech Industry
3. 学会等名 "Development and Challenges in Current PRC" Mainland Affairs Committee of ROC and the Association for Advanced Policy Studies (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 丸川知雄
2. 発表標題 中国は米国との貿易摩擦にどう対応すべきか
3. 学会等名 上海外国語大学「中国の自由貿易区建設と複合型人材育成」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 丸川知雄
2. 発表標題 中国的産業政策和其高科技産業的展望
3. 学会等名 政治大学国際関係研究中心「中国産業の発展と政策」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 丸川知雄
2. 発表標題 中国是否走向市場經濟
3. 学会等名 中央研究院「中国經濟發展モデル・第12回」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 丸川知雄
2. 発表標題 華為と中国のイノベーションモデルー日本の視点から
3. 学会等名 中国経済経営学会全国大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 丸川知雄
2. 発表標題 中国を中心とする世界経済と日本の生存
3. 学会等名 公益財団法人世界平和研究所・中国人民外交学会「第12回日中関係シンポジウム」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Takahara
2. 発表標題 Cooperation and/or Competition?: Conflicting Trends in East Asia
3. 学会等名 'Asia and the World' Public Lecture Series, at the Graduate School of International Studies, (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 日中関係に関する政策研究について
3. 学会等名 日中平和友好条約締結40周年記念国際シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 日中平和友好条約の精神と日中関係の課題
3. 学会等名 日中平和友好条約締結40周年記念国際学術シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 日中関係 過去の合意と今後の課題
3. 学会等名 中国社会科学論壇日中平和友好条約締結40周年記念国際シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 日中平和友好条約と日中関係
3. 学会等名 第3回東アジア国際法フォーラム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Takahara
2. 発表標題 China's Genius for Formulating Constellational Concepts: Reform and Opening and the Belt and Road Initiative
3. 学会等名 International Conference '40th Anniversary of China's Reform And Opening-Up: Institutional Change And Reconfigurations of China's Political Economy'（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 米中対立と中国外交
3. 学会等名 JIIAシンポジウム「米中『新冷戦』と東アジアの国際秩序」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Takahara
2. 発表標題 BRI and FOIP: Can They Coexist?
3. 学会等名 The 6th GSDM International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Takahara
2. 発表標題 BRI and FOIP: Constellational Concepts That Can Coexist
3. 学会等名 Asia Distinguished Scholars Special Seminar, co-organised by the Institute for China Studies and Institute for Peace and Unification Studies at Seoul National University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 園田茂人
2. 発表標題 中国台頭の国際心理 アジア域内の温度差をめぐって
3. 学会等名 社会学系コンソーシアム・日本学術会議第11回シンポジウム「アジアがひらく日本」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 園田茂人
2. 発表標題 “Sandwiched by China and Japan: A Preliminary Analysis of Perception toward “Rise of China” by Second Generation of Chinese Migrants in Japan”
3. 学会等名 東大與臺大的社會學交流（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Heejin Kim & Hiroshi Itagaki
2. 発表標題 Functional language of Japanese MNCs: A predetermined construct or a product of deliberate selection?
3. 学会等名 12th GEM&L International Conference on Management & Language（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金熙珍 & 板垣博
2. 発表標題 海外子会社の言語政策と知識移転：アジアにおける日本企業の言語選択
3. 学会等名 国際ビジネス研究学会第25回全国大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 美国特朗普政權对兩岸關係的影響：從多重不確定性到戰略矛盾的深化
3. 学会等名 第九屆“中日關係中的台灣問題”學術研討會（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 米中関係の将来 シナリオプランニングによる思考実験
3. 学会等名 新聞協会国際委員会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 米中関係の新展開 北東アジアへの影響
3. 学会等名 平和政策研究所 / 世界平和教授アカデミー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 台湾2018地方選挙：政治分析與政局展望
3. 学会等名 中国社会科学院台湾研究所（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 MATSUDA Yasuhiro
2. 発表標題 A Dilemma between Security & Economy: Japan's Strategy for the 'New Cold-War'
3. 学会等名 The Centre for International Security Studies (CISS), The University of Sydney (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 新時代の日中関係 新たな主要矛盾と生態文明
3. 学会等名 記念中日和平友好条約締結40周年中日関係研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shin Kawashima
2. 発表標題 China at present and BRI
3. 学会等名 第2回: 日経・CSIS 地政経済学シンポジウム(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 中国の対外政策と秩序形成
3. 学会等名 第9回東京ソウルフォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 近代日中関係史のCRITICAL JUNCTURE 21か条要求・満洲事変・日華平和条約
3. 学会等名 20世紀アジアを振り返る 国際関係と国家建設の視点から
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shin Kawashima
2. 発表標題 Chinese view on trade issue and North Korea Problem
3. 学会等名 CTrade Battles, North Korea, and U.S.-Japan China Policy (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shin Kawashima
2. 発表標題 China's View of the World Order and Recent Trilateral Relations Among Japan,
3. 学会等名 US and China (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shin Kawashima
2. 発表標題 China's Nation Building and Critical Junctures of Modern Sino-Japanese Relations
3. 学会等名 20世紀アジアの歴史国際共同研究シンポジウム (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shin Kawashima
2. 発表標題 The Rise of China and its Implications for the World: A View from Japan
3. 学会等名 ワークショップ 'EUROPE AND EAST ASIA UNDER THE SHADOW OF AUTHORITARIAN POWERS' (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 日中「歴史和解」過程から見る日韓関係
3. 学会等名 第2回歴史和解のための韓日フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 不確実な世界の中の中国 ポスト毛沢東時代の終焉か
3. 学会等名 2017年度アジア政経学会春季大会共通論題（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Akio Takahara
2. 発表標題 History and Japan-China Relations
3. 学会等名 Historical Issues and Peace Building: Japan, China and the two Koreas, seminar organised by the Daiwa Anglo-Japanese Foundation（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 全球化、区域化与国家的角色
3. 学会等名 北京大学・吉林大学共同主催「発展経路比較：中国、東亜と世界・2017 国際研究討論会議」基調報告（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Akio Takahara
2. 発表標題 East, West, South, North, and Centre: To Which Way is Xi Jinping Leading China?
3. 学会等名 Lecture at the Japanisches Kulturinstitut Koeln (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 Development of Data Archive and Its Impact on Asian Studies
3. 学会等名 アジア政経学会2017年度年次大会Kashiyama Seminar
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 Global Japan Studies Summer Programs: Challenges and Prospects
3. 学会等名 6th FNASIC (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 In Search of Asianization of Sociology:Some Reflections of “Frontier of Comparative Studies of Asian Societies (2010-2013)” Project
3. 学会等名 Asia Talk Series at Bogazici University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 園田茂人
2. 発表標題 亜州的亜州化与全球亜州研究的台頭
3. 学会等名 東アジアの多彩な発展と日中韓の貢献・国際学術シンポジウム（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 How Neighboring Societies are looking at the Rise of China?: A Socio-psychological Inquiry
3. 学会等名 南京大学政府管理学院スピーチ聖達学術論壇78講（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 The Challenges of “Asianization” of Asian Studies: A Personal Reflection.
3. 学会等名 ANU-PKU-UTokyo Winter Institute（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 'China Threat' in the Eyes of East Asian Elite University Students
3. 学会等名 Joint Conference by Claremont Mckenna College and the University of Tokyo, The Decline of the Western Liberal Order and Its Impact on East Asia（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomoo Marukawa
2. 発表標題 "The Factors of China's Competitiveness in Steel."
3. 学会等名 The 7th World Forum on China Studies (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 丸川知雄
2. 発表標題 産業政策在中国鋼鉄工業有効
3. 学会等名 発展路徑比較: 中国、東亜与世界 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 丸川知雄
2. 発表標題 中国・深センにおける事業創出とイノベーション
3. 学会等名 アジア経営学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tomoo Marukawa
2. 発表標題 The Economic Nexus between China and Emerging Economies
3. 学会等名 The Second World Congress of Comparative Economics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 The Strategic Impact of the Taiwan Issue on the U.S.-Japan Alliance
3. 学会等名 Japanese Views on China and Taiwan: Implication for the U.S.-Japan Alliance
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 「試論日本安倍晋三政府の決策特徴：外交與安全政策の戰略與技術」
3. 学会等名 国立台湾大学日本研究中心（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 “ The Prospects for Improved Sino-Japanese Relations Following the 19th Party Congress: Converging Interests Despite in the Same Bed, Different Dreams ”
3. 学会等名 Japanese Diplomatic/Political History & Studies, Carlton University, (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 “ Sino-Japanese Relations Are More Stable than They Seem, ”
3. 学会等名 East-West Center Washington (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 作為思想的對華外交：從外交現場審視蔣介石・中華民國・台灣
3. 学会等名 “ 第四屆蔣介石與近代中國 ” 國際學術研討會（國際學會）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 KAWASHIMA Shin
2. 発表標題 CHINESE PERCEPTIONS OF ASIA AND JAPANESE PAN-ASIANISM IN THE EARLY 20TH CENTURY
3. 学会等名 EAJS2017（國際學會）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 冷戰期中華民國的對外政策與宣傳 尖閣諸島 / 釣魚台列嶼問題的形成過程における
3. 学会等名 アジア政経学会秋季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 新時代中日關係的展望和課題
3. 学会等名 2017年復旦大學日本研究中心第27回年次國際シンポジウム「トランプ政権下のアジア太平洋經濟統合と中日協力」（招待講演）（國際學會）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 1980年代初中日關係與東亞國際秩序的變動 以日本新公開外交と案為基礎的初步探討
3. 学会等名 「戰爭與東亞國際秩序的變動」國際學術研討會 (國際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 KAWASHIMA Shin
2. 発表標題 THE FORMATION SENKAKU/DIAOYU DISPUTES AND THE MEDIA ' S STANDPOINTS TO BAODIAO MOVEMENT: A CASE STUDY ON PROPAGANDA OF THE KMT GOVERNMENT
3. 学会等名 WORKSHOP ON COLD WAR AND KNOWLEDGE IN EAST ASIA (國際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuko Kojima
2. 発表標題 Japanese Politics in Sino-Japanese Relations
3. 学会等名 SMU (Southern Methodist University) Tower Center Forum (招待講演) (國際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Akio Takahara
2. 発表標題 China's External Policies under Xi Jinping: Implications for Japan
3. 学会等名 Distinguished Visitor Lecture, Weatherhead Center for International Affairs, Harvard University (招待講演) (國際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 日中關係的發展
3. 学会等名 上海國際問題研究院主催第七回“中日關係中的台灣問題”學術研究討論會（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Akio Takahara
2. 発表標題 Sino-Japanese Relations: Perception Gaps and the Impact of Domestic Politics
3. 学会等名 USC International Forum on Sino-Japanese Relations（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高原明生
2. 発表標題 經濟發展と中国政治
3. 学会等名 孫文生誕150周年記念特別講演會基調講演（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 園田茂人
2. 発表標題 中国台頭の國際:内外の温度差を中心に
3. 学会等名 日中産官学交流機構第112回セミナー（招待講演）（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 Why are Chinese Citizens so Positive toward and Government?:Chronological Analysis of Chinese Four-city Survey, 1998-2014
3. 学会等名 International Workshop on “ Challenges of Third Wave of Four City Survey 1997-2014: From Fact Findings to Theory Building ”
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shigeto Sonada
2. 発表標題 Why are Chinese Citizens so Positive toward and Government?:Chronological Analysis of Chinese Four-city Survey, 1998-2014
3. 学会等名 Joint Conference of East Asian Studies 2016, Panel 59 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shigeto Sonada
2. 発表標題 中国台頭の国際心理:内外の温度差を中心に
3. 学会等名 東洋文化研究所公開講座「アジアの策」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 Is the Rise of China a Threat or a Chance?: Analysis of 2nd Wave Asian Student Survey and 3rd Wave Four-city Survey
3. 学会等名 NTU-Utokyo Joint Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 Why are Chinese Citizens so Positive toward and Government?:Chronological Analysis of Chinese Four-city Survey, 1998-2014
3. 学会等名 Center for East Asian Studies, University of Chicago (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 Is Local Identity Declining in Mega Cities in China?: Chronological Analysis of Four-city Survey Data, 1997-2014
3. 学会等名 Harvard-Utoko Conference, Asian Cities:Hubs of Interaction, Tradition and Transformation (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 Chinese Views on International Affairs: An Analysis of Four-city Survey Data
3. 学会等名 International Workshop on International Dimension of the Rise of China: Dialogue between Indian and Japanese China Experts (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigeto Sonoda
2. 発表標題 Accomplishments of Third Wave of Four-city Survey, 1998-2014
3. 学会等名 International Workshop on "From Accumulation of Data to the Creation of Grounded Theories: Challenges of Sociological China Study" (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tomoo Marukawa
2. 発表標題 The Economic Nexus between China and Emerging Economies
3. 学会等名 Joint East Asian Studies Conference
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 丸川知雄
2. 発表標題 深せん：イノベーションの首都
3. 学会等名 日本現代中国学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tomoo Marukawa
2. 発表標題 Regional Unemployment Disparities in China
3. 学会等名 Slavic-Eurasian Research Center, International Symposium
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 馬英九政権期の日台関係
3. 学会等名 日本台湾学会第18回学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 中国の構造的権力下の台湾 繁栄と自立のディレンマを越えて
3. 学会等名 日本国際政治学会創設60周年記念研究大会（2016年度研究大会）部会9「中国の『構造的権力』と周辺諸国・諸地域」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 民進党・蔡英文政権の誕生 中台および対外関係の課題と展望
3. 学会等名 アジア政経学会2016年度春季大会・企画分科会 台湾・民進党新政権の今後とアジア
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 習近平政権下の米中関係展望
3. 学会等名 現代中国学会関東部会定例研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 日台関係の現状及其発展趨勢
3. 学会等名 天津社会科学院日本研究所 南開大学日本研究中心（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田康博
2. 発表標題 試論美国特朗普新政府对亚太地区地区的衝擊
3. 学会等名 上海社会科学院 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 KAWASHIMA Shin
2. 発表標題 Rethinking Wang Jingwei Puppet Regime's Value to Japan: the Case of Overseas Chinese Remittance to Occupied South China
3. 学会等名 Panel 366 Reassessing Chinese Collaborationist Regimes under Japanese Wartime Occupation, 1938-1945 (AAS Annual Conference (国際学会))
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 主権の危機-対華二十一箇条要求と中国外交 (交渉初期の検討)
3. 学会等名 第22回東アジア国際関係史研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 KAWASHIMA Shin
2. 発表標題 The governance on maritime resources in South China Sea: history and present
3. 学会等名 National Seminar on Maritime Border Resource Management (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 KAWASHIMA Shin
2. 発表標題 The Turning Points of Modern Sino-Japanese Relations
3. 学会等名 Asian Shadows: The Hidden History of World War II in the Pacific (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 台灣新政權與日台關係 經濟協力・安全保障協力・國民交流
3. 学会等名 2016年日本政経發展與對外關係國際學術研討會 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 KAWASHIMA Shin
2. 発表標題 Images of World Order in Modern China: From the Late Empire to the Nanjing Government
3. 学会等名 Section: 14. Politics & International Relations, Chair: Revelant Andrea, EACS 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 中国に於ける万国公法の受容とその利用 主権概念に注目して
3. 学会等名 2016年度翰林科学院学术シンポジウム (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 清末中國的世界觀與外交 以《外交報》為主的探討
3. 学会等名 變動中的東亞：跨域視野的觀察國際學術研討會（國際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 中国における甲午戦争120年史研究の背景
3. 学会等名 東アジア近代史学会2016年度 第21回 東アジア近代史学会研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 KAWASHIMA Shin
2. 発表標題 Changes on China ' s foreign policy and Japan-China relations
3. 学会等名 Institute of Chinese Studies (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 KAWASHIMA Shin
2. 発表標題 China ' s foreign policy
3. 学会等名 Observer Research Foundation (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 【文史講堂】中国近代外交の形成と現代中国
3. 学会等名 復旦大学文史研究院（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 【史学論壇】二十一條要求と輿論と外交
3. 学会等名 復旦大学歴史学系（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 田中明彦
2. 発表標題 現代の安全保障 「三つの圏域」論の再検討
3. 学会等名 国際安全保障学会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 田中明彦
2. 発表標題 World Order: Are We Really on Our Way to the New Middle Ages?
3. 学会等名 The Japan Association of International Relations（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 田中明彦
2. 発表標題 African Development: a Japanese Perspective
3. 学会等名 The Royal African Society (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 田中明彦
2. 発表標題 Japan in Search of Foreign Policy Equilibrium: Post-Cold War Dynamics.
3. 学会等名 The National Bureau of Asian Research (招待講演)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計39件

1. 著者名 高原明生、川島 真、遠藤 貢、松田康博	4. 発行年 2020年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 272 (15-24)
3. 書名 『中国の外交戦略と世界秩序 理念・政策・現地の視線』 「第9章 中南米地域をめぐる中台関係」	

1. 著者名 天兒 慧、高原 明生、菱田 雅晴	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 326
3. 書名 証言 戦後日中関係秘史	

1. 著者名 Kiichi Fujiwara	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Princeton University Press	5. 総ページ数 431(201-218)
3. 書名 "Hiroshima, Nanjing, and Yasukuni: Contending Discourses on the Second World War in Japan," in Michael D. Gordin and G. John Ikenberry, eds., The Age of Hiroshima	

1. 著者名 藤原帰一	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 309
3. 書名 不安定化する世界	

1. 著者名 李福鐘・薛化元・若林正文・川島真・洪郁如共編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 第三輯、稻郷出版社	5. 総ページ数 302
3. 書名 跨域青年学者台湾與東亞近代史研究論集	

1. 著者名 川島真・中村元哉編著	4. 発行年 2019年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 440
3. 書名 中華民国研究の動向 中国と日本の中国近代史理解	

1. 著者名 川島真・小嶋華津子編著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 238
3. 書名 『よくわかる 現代中国政治』	

1. 著者名 薛化元・若林正丈・川島真主編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 国立政治大学台湾史研究所出版	5. 総ページ数 270
3. 書名 自由・民主・人権與近代東亜論集	

1. 著者名 丸川知雄	4. 発行年 2019年
2. 出版社 同友館	5. 総ページ数 358(91-113)
3. 書名 米中摩擦下の中国経済と日中連携	

1. 著者名 丸川知雄	4. 発行年 2019年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 450(291-294)
3. 書名 『“世界の工場”への道 20世紀東アジアの経済発展』	

1. 著者名 丸川知雄	4. 発行年 2019年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 456(379-411)
3. 書名 都市から学ぶアジア経済史	

1. 著者名 丸川知雄	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本国際貿易促進協会	5. 総ページ数 232(2-9)
3. 書名 日中貿易必携2019年度版	

1. 著者名 丸川知雄	4. 発行年 2019年
2. 出版社 花伝社	5. 総ページ数 224(56-72)
3. 書名 米中貿易戦争と日本経済の突破口	

1. 著者名 丸川知雄	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 362(91-113)
3. 書名 危機対応の社会科学 上 想定外を超えて	

1. 著者名 丸川知雄	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 268(233-243)
3. 書名 現代中国経済入門 人口ボーナスから改革ボーナスへ	

1. 著者名 丸川知雄	4. 発行年 2019年
2. 出版社 作品社	5. 総ページ数 264(205-229)
3. 書名 東アジアのイノベーション	

1. 著者名 小原 雅博	4. 発行年 2018年
2. 出版社 講談社	5. 総ページ数 296
3. 書名 日本の国益	

1. 著者名 鈴木 達治郎、広瀬 訓、藤原 帰一、中村 桂子、榎本 浩司、吉田 文彦、向 和歌奈、孫 賢鎮、堀尾 健太、全 炳徳、永井 雄一郎、太田 昌克	4. 発行年 2018年
2. 出版社 法律文化社	5. 総ページ数 230
3. 書名 核の脅威にどう対処すべきか	

1. 著者名 波多野澄雄・戸部良一・松元崇・庄司潤一郎・川島真	4. 発行年 2018年
2. 出版社 新潮新書	5. 総ページ数 288
3. 書名 決定版 日中戦争	

1. 著者名 阿南友亮・佐橋亮・小泉悠・クリストファー・ウォーカー・保坂三四郎・マイケル・マッコール・川島真	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中央公論Digital Digest、Kindle版、中央公論新社	5. 総ページ数 52
3. 書名 シャープパワーの脅威	

1. 著者名 河原地英武・平野達志訳著、家近亮子・川島真・岩谷将	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 337
3. 書名 日中戦争と中ソ関係 1937年ソ連外交文書 邦訳・解題・解説	

1. 著者名 Akio Takahara	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 422(153-164)
3. 書名 Routledge Handbook of the Chinese Communist Party	

1. 著者名 Akio Takahara	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 XVII, 387 (25-65)
3. 書名 China-Japan Relations in the 21st Century: Antagonism Despite Interdependency	

1. 著者名 高原明生	4. 発行年 2018年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 224 (131 - 148)
3. 書名 現代中国の政治制度 時間の政治と共産党支配	

1. 著者名 園田茂人・デヴィッド・S・G・グッドマン編	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 272(261)
3. 書名 チャイナ・インパクト：近隣からみた「台頭」と「脅威」	

1. 著者名 伊藤守・小泉秀樹・三本松政之・似田貝香門・橋本和孝・長谷部弘・日高昭夫・吉原直樹編	4. 発行年 2017年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 1168(16-17)
3. 書名 コミュニティ事典	

1. 著者名 日本社会学会理論応用事典刊行委員会編	4. 発行年 2017年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 964(392-393: 526-527)
3. 書名 社会学理論応用事典	

1. 著者名 華僑華人の事典編集委員会編	4. 発行年 2017年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 620 (85-86)
3. 書名 華僑華人の事典	

1. 著者名 友枝敏雄・浜日出夫・山田真茂留編	4. 発行年 2017年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 312 (222-225)
3. 書名 社会学の力：最重要概念・命題集	

1. 著者名 郭四志編 (丸川知雄分担執筆)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 文真堂	5. 総ページ数 334(59-77)
3. 書名 中国経済の新時代 成長パターンの転換と日中連携	

1. 著者名 松田康博、清水麗編著	4. 発行年 2018年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 228(1-9、163-193)
3. 書名 現代台湾の政治経済と中台関係 序章 第8章	

1. 著者名 松田康博	4. 発行年 2017年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 350(177-207)
3. 書名 『戦時秩序に巣喰う「声」 日中戦争・国共内戦・朝鮮戦争と中国社会』第6章	

1. 著者名 平岩俊司・川島真・金基正・木村幹・加藤達也・松崎隆司・石丸次郎・山口昇・香田洋二・永岩俊道	4. 発行年 2017年
2. 出版社 中央公論新社、Kindle版	5. 総ページ数 56(56)
3. 書名 北朝鮮の暴走、韓国の迷走	

1. 著者名 宮本雄二、佐橋亮、川島真、堀本武功	4. 発行年 2017年
2. 出版社 中央公論新社、Kindle版	5. 総ページ数 26(26)
3. 書名 習近平の権謀	

1. 著者名 Tomoo Marukawa	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Palgrave MacMillan	5. 総ページ数 314ページ
3. 書名 Yukihito Sato, Hajime Sato ed. Varieties and Alternatives of Catching-up: Asian Development in the Context of the 21st Century	

1. 著者名 川島真	4. 発行年 2017年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 240
3. 書名 中国のフロンティア 揺れ動く境界から考える	

1. 著者名 福井憲彦・太田信宏・加藤玄・川島真・高野太輔・佐川英治・本村凌二・山本秀行・角田展子・西浜吉晴	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東京書籍	5. 総ページ数 448
3. 書名 世界史B	

1. 著者名 川島真	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 344
3. 書名 21世紀の「中華」 習近平中国と東アジア	

1. 著者名 薛化元・川島真・洪郁如主編	4. 発行年 2016年
2. 出版社 国立政治大学台湾史研究所	5. 総ページ数 480
3. 書名 台湾與東亜 跨域青年学者近代史研究論集	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小嶋 華津子 (Kojima Kazuko) (00344854)	慶應義塾大学・法学部(三田)・准教授 (32612)	
研究分担者	園田 茂人 (Sonoda Shigeto) (10206683)	東京大学・東洋文化研究所・教授 (12601)	
研究分担者	平野 温郎 (Hirano Haruo) (10719264)	東京大学・大学院法学政治学研究科(法学部)・教授 (12601)	
研究分担者	板垣 博 (Itagaki Hiroshi) (20125884)	武蔵大学・総合研究所・研究員 (32677)	
研究分担者	加茂 具樹 (Kamo Tomoki) (30365499)	慶應義塾大学・総合政策学部(藤沢)・教授 (32612)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	丸川 知雄 (Marukawa Tomoo) (40334263)	東京大学・社会科学研究所・教授 (12601)	
研究分担者	松田 康博 (Matsuda Yasuhiro) (50511482)	東京大学・東洋文化研究所・教授 (12601)	
研究分担者	小原 雅博 (Kohara Masahiro) (70370103)	東京大学・大学院法学政治学研究科（法学部）・教授 (12601)	
研究分担者	藤原 帰一 (Fujiwara Kiichi) (90173484)	東京大学・大学院法学政治学研究科（法学部）・教授 (12601)	
研究分担者	川島 真 (Kawashima Shin) (90301861)	東京大学・大学院総合文化研究科・教授 (12601)	
研究分担者	田中 明彦 (Tanaka Akihiko) (30163497)	東京大学・東洋文化研究所・教授 (12601)	